

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

令和 6 (2024) 年 5 月号

編 集 武田 隆久
発 行 人 〒102-8414 東京都千代田区三番町 9-15
一般社団法人 日本病院会 事業部教育課
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)
URL <https://jha-e.jp/>
受付時間 10:00~17:00
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)
発 行 日 毎月 1 日

学びと実践について

十河 浩史

公益財団法人 大原記念倉敷中央機構 倉敷中央病院リバーサイド 事務長
専門課程小委員会 委員

2024年3月22日に合格の吉報が届いた皆さん、おめでとうございます。2年間の学びの成果が実を結び、学友と喜びを分かち合ったことと思います。この通信教育を受講されている皆さんは病院・診療所に勤務されている方がほとんどだと思います。来年受験される方、この1年を有意義に過ごしていただければと思います。

診療情報管理士が働く場は診療録管理士の時代から時を経て医事や地域連携、経営企画、最近では医師事務作業補助と病院事務職員に必須と言っているほどの資格になっていると感じています。

筆者は1,000床規模の病院から200床未満の病院(日本の病院の7割が200床未満)に2020年10月に異動になり、この病院の状況を把握するために様々なデータを求めました。単年度、単月でまとめた集計値は生データをもとにシステムから抽出することで容易に作成できます。しかし、それだけでは診療科別・疾患名別に経年の変化などを俯瞰的にとらえ把握することはできません。集計値を活用できる情報にするためには加工が必要になります。病院全体の将来ビジョンや施策を構築するために必要だと感じ、前年同月比較や季節による特徴を数年の変化でとらえるため、さしあたって入院経路別の疾患名、医療機関別の資料作成をお願いしました。依頼の意図を理解してくれ求めていた資料ができあがりました。それを作成してくれたのは診療情報管理士の資格を持った若手職員で頼もしく思いました。また病院事務職員が取得した方がいい資格として診療報酬に関するものがあります。当法人の人事データベースに登録されるある意味公的な資格のひとつにしていたものが、時代の流れの中で運営の継続を止めるという発表があり医療系の教育機関やこれから受験を考えていた病院事務職はとても驚きました。資格が無くても仕事はできますが、資格を持つことで職員のスキルがわかり一緒に仕事をする上で協働の道標になります。病院運営で資格を活用するには管理職含め、まずは学びが必要でその先に活用があると考えます。

また、自分たちの医療の質がどうなのかを知るために日本病院会のQIプロジェクトに参加しました。データの質を担保しながら、同規模で同じ役割を持つ他の病院と様々な指標で比較できることは組織として大切であると共に、そこで働く職員の士気向上やデータをまとめる職員のキャリア形成にも役立つと感じています。日本病院会に加盟している病院数2,555のうちQIプロジェクトに参加しているのが370病院、そのうち200床未満は57病院でした。

2024年は医療と介護と障害福祉のトリプル改定の年になります。簡素化の話が出ながらより複雑化した診療報酬改定だったと感じています。病院の事務職やマネジメント層の確保が難しい時代です。しかし事務職員の質向上にはどの世代でも必要な学びは続けなければならないと思うこの頃です。